

## 日本国憲法制定の政治過程をめぐって

広島大学総合科学部助教授  
村田晃嗣

### (1) 占領下の憲法改正

1907年ハーグ陸戦法規第43条

「国ノ権力ガ事実上占領者ノ手ニ移リタル上ハ、占領者ハ、絶対的ノ支障ナキ限、占領地ノ現行法律ヲ尊重シテ、成ルベク公共ノ秩序及生活ヲ回復確保スル為施シ得ベキ一切ノ手段ヲ尽スベシ」

西ドイツの場合 中央政府の壊滅 デベラチオ(debellatio) 戦勝国に敗戦国を併合する権限

「ドイツに対する最高権限の掌握宣言」

日本の場合 ポツダム宣言受諾

10「日本国政府ハ日本国民ノ間ニオケル民主主義的傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障害ヲ除去スベシ言論、宗教及思想ノ自由並ニ基本的人権ノ尊重ハ確立セラルベシ」

「政府と致しましては、憲法に基づいてこの憲法を改正し、しかもポツダム宣言に依っておる国際義務をもその中において履行する。それを現実の姿に現したのが、今回の手続である」(金森国務大臣の政府答弁)

「ハーグ条約に定める以上の権限を国際取極によって占領軍に与えることは一般的に禁じられていないことに、まず注目しなければならない」

安藤仁介「国際社会と日本」佐藤他編『憲法50年の展望』 I (有斐閣、1998年)

大正デモクラシーの経験

スティムソン陸軍長官の発言「日本は幣原、若槻、浜口といった西洋世界の指導的政治家と同等にランクされうる進歩的指導者を生み出す能力をもっている」

### (2) マッカーサーの戦略観

「将軍たちは過去の戦争を戦い、外交官たちは過去の講和を論じる」

米統合参謀本部(JCS)米ソ全面戦争型の第三次世界大戦を想定 46.3「ピンチャー」シリーズ

「ソ連に決定的な結末」を与えるには196発の原爆が必要

米の原爆保有数 45末-2 46.7-9 47.7-13 48.7-50

「最低限5個日本師団を装備・維持すること」

米極東軍「ベーカー」シリーズ 核兵器の戦術的使用

極東ソ連軍 40個師団を30日で動員、朝鮮半島、北中国を席卷して北海道、九州に侵攻の可能性

米軍 南朝鮮から撤退 ウラジオストック、釜山、旅順、大連に原爆投下、ソ連軍を90日足止め  
2個米師団の日本来援

柴山太「原爆か日本再軍備か」伊藤他編『環太平洋の国際秩序の模索と日本』(山川出版社、1999年)

三笠宮の発言(枢密院、46.6.8)『朝日新聞』94.7.30

「戦争形態の大変化である。世界のどこからでも原子爆弾を持った飛行機が無着陸で任意の目的地に攻撃を加える時代となった。ゆえに海岸に要塞があれば安心とか、満州や南洋を占領していれば

本土は安全とかいう時代ではない。従って新憲法前文にあるごとく『我等の安全と生存をあげて平和を愛する世界の諸国民の公正と信義に委ね』ねばならないのである」

### (3) 「侵略戦争」の定義

極東国際軍事裁判 「平和に対する罪」 「宣戦を布告せる又は布告せざる侵略戦争、若は国際法、条約、協定又は保証に違反せる戦争の計画、準備、開始、又は実行、若じゃ右諸行為の何れかを達成する為の共通の計画又は共同謀議への参加」

客観的な「侵略戦争」の定義の不在

対日平和条約(1951.9.8) 11条

「日本国は、極東国際軍事裁判並びに日本国内及び国外の他の連合国戦争犯罪法廷の裁判を受諾し」

「戦後日本の独立の継続と回復は、いわばあの裁判での司法取引の成果だったと見る事ができる」

山崎正和『歴史の真実と政治の正義』(中央公論新社、2000年)

「憲法論、国法論以外に、現在における国情、国際の情况等」より判断して審議されたい 吉田茂(46.6.22 貴族院本会議)

### (4) 「文民条項」

46.9.20 極東委員会 「芦田修正」に反発 シビリアン条項を要求

9.24 GHQ シビリアン条項を日本政府に要求

9.26 政府案「総理その他の国務大臣は、武官の職歴を有さない者」

9.28 貴族院帝国憲法改正特別委員会に付託

Prime minister and all ministers of the State shall be civilians.

「たとえば、5だけ制限しようと注文されたのに対して10制限しようとするものである。総司令部の注文に応じて行う修正である以上、その注文の範囲だけ修正すればいいので、それ以上におよぶ必要はない」

「貴族院は、ひろく武官の職歴を有する者から国務大臣になる資格を奪うのは妥当ではないと考えて、政府の意見を排斥して、シヴィリヤンをそのまま『文民』と訳して66条2項とした」

宮沢俊義『コンメンタール日本国憲法』別冊付録(日本評論社、1960年)

米国1947年国家安全保障法(National Security Act of 1947)

空軍の独立、国防長官、国家軍事機構、国家安全保障会議(NSC)、中央情報局(CIA)の創設

拙著『米国初代国防長官フォレストル』(中公新書、1999年)

### (5) その他

「象徴」と天皇の「人間宣言」

SCAPanese (ジョン・ダワー) 占領軍司令部によって創られた日本語

平和について

憲法前文 「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」

井尻千男『劇的な精神——福田恒存』(徳間文庫、1998年)